

# 第5回 わんぱく相撲女子 全国大会



モデル  
第5回わんぱく相撲愛媛ブロック大会  
5年生女子横綱 福音小学校 船川 愛唯理 氏

第三十六回わんぱく相撲松山場所俳句 理事長賞  
みつあみの わんぱくずもう なつのかぜ  
松前小学校 菊地 椋佳 氏

## 伊予まつやま大会 ~立ち上がれ! 女たち~

主催 JCI Matsuyama

100年経っても、"LOVEまつやま"  
Junior Chamber International Matsuyama  
公益社団法人 松山青年会議所

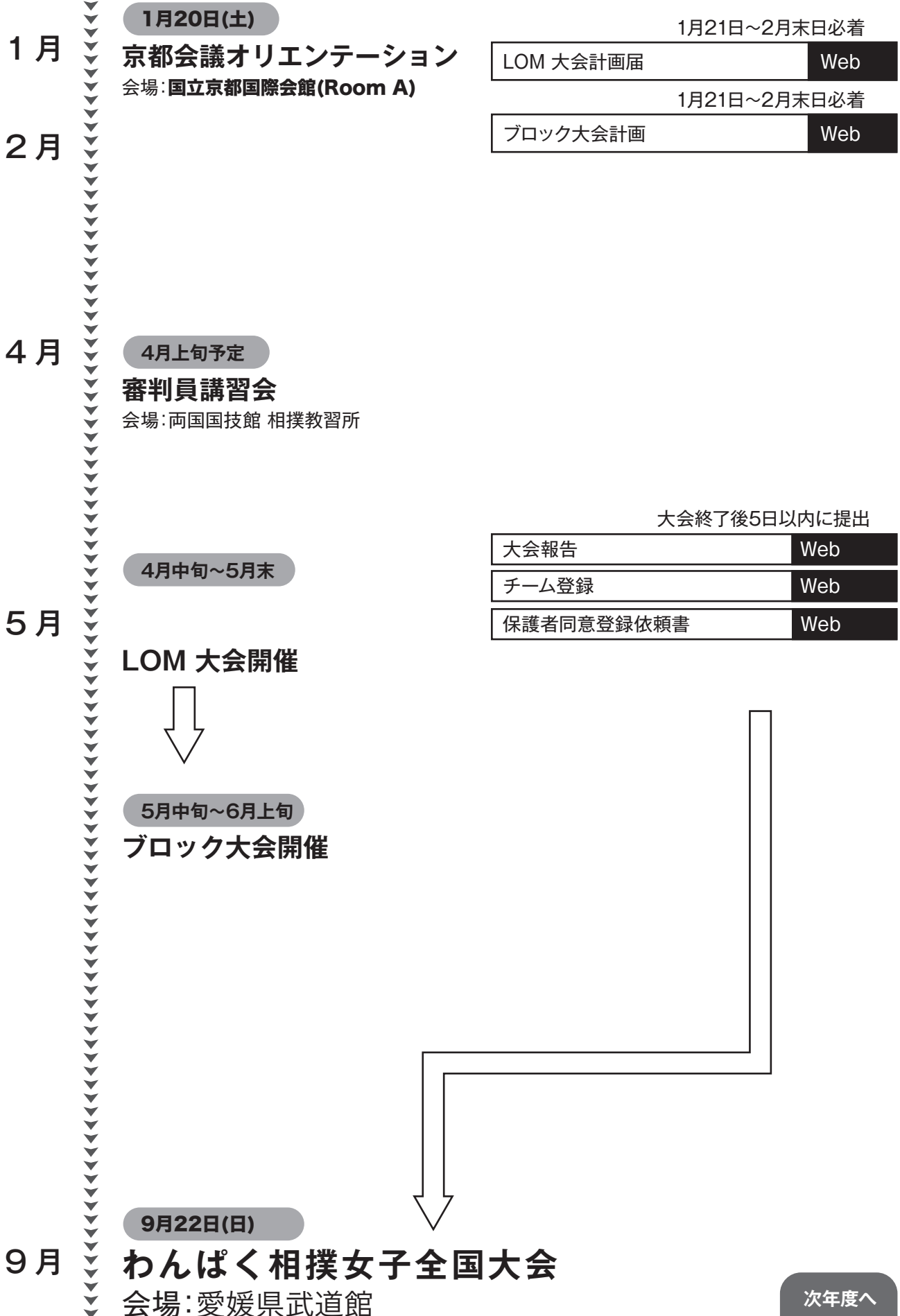
開催日 : 2024年9月22日(日)  
開催場所 : 愛媛県武道館  
〒790-0948 愛媛県松山市市坪西町 551



各種SNSは  
右記の  
二次元コード  
からご確認  
ください!



## 全国大会開催までのフローチャート



## 目次

第 1 章	大会会長あいさつ . . . . .	3
第 2 章	全国大会に関して . . . . .	5
第 3 章	提出書類 . . . . .	12
第 4 章	「わんぱく相撲」競技事項 . . . . .	17

# 第1章

## 大会会長あいさつ



# 第5回わんぱく相撲女子全国大会

## 伊予まつやま大会

～立ち上がれ！女たち～



わんぱく相撲女子全国大会  
大会会長

公益社団法人  
松山青年会議所 理事長  
三原 鉄平

新年明けましておめでとうございます。

第5回わんぱく相撲女子全国大会を開催させていただきます、公益社団法人松山青年会議所2024年度 第72代理事長の三原鉄平と申します。

平素よりわんぱく相撲女子全国大会にご賛同いただき、地区大会の開催、大会運営に多くのお力添えをいただきまことにありがとうございます。

2024年度の第5回わんぱく相撲全国大会は大会名を「伊予まつやま大会」、スローガンを「立ち上がれ！女たち」とさせていただきました。私たちが住み暮らす愛媛県は、古くは「伊予国」（いよのくに）と呼ばれ、江戸時代には能や茶、俳句など様々な文化が盛んで現代でもその影響が色濃く残った街並みとなっています。また、愛媛県西予市で1852年より続く乙亥大相撲は、地域経済の発展に寄与するだけでなく、私たちの地域に相撲文化を根付かせてくれています。歴史文化溢れ、相撲との縁深い愛媛県にて開催させていただく今大会で、子どもたちには一生の思い出と一生の絆をつくっていただくとともに、松山にきていただくすべての皆さまに地域の魅力をしっかりと体感していただける大会を開催させていただきます。

また、私たち松山青年会議所は今年度「人生一度 限られた時間を 全てやる」というスローガンを掲げて運動を展開してまいります。40歳までの限られた時間の中で第5回わんぱく相撲女子全国大会を主管させていただくことに最大限の感謝を申し上げるとともに、この経験をメンバーの成長につなげ、さらに地域から必要とされる団体としてこれからも邁進してまいります。関わってくださる皆さまも是非松山に来ていただき、私たちの想いを感じていただければ幸いです。

結びになりますが、わんぱく相撲という事業は、私たちの想いだけでなく、子どもたちの想いを汲み取り反映させることが大切だと思っています。子どもたちのさらなる笑顔と成長のため、メンバー一丸となり事業構築してまいりますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。この事業が全国各地の魅力を発信しながら末永く続いていくことをご祈念申し上げ開催地理事長のご挨拶とさせていただきます。

## 第2章

# 全国大会に関して

## ■開催趣旨

相撲という国技を通して礼儀や感謝の気持ちを学び社会生活に必要な道徳心を養う場を与えるとともに、長きにわたる歴史の中で変わることなく重んじられてきた伝統を知り日本という国に対する郷土愛の醸成、また女子相撲の普及発展につながる大会となることを目的とし、開催いたします。

## ■意義と成果

- 1.相撲道が持つ礼節の中から努力や思いやり、感謝の気持ちを学び、社会生活に必要な道徳心を養う場を与えられる。
- 2.スポーツとしての相撲を通じて伝統を重んじ、国を愛す心を養うことができる。
- 3.わんぱく相撲女子全国大会を開催することで、女子選手たちに夢を与え、挑戦する励みとすることができる。
- 4.相撲の伝統を重んじながら、女子相撲を通じてジェンダーフリーな社会の実現に向けて推進することができる。
- 5.青年会議所の基本的な理念である持続可能な地域社会の形成という重要な役割を果たすと同時に「心豊かな青少年の育成」を強力に推進することができる。

## ■開催要項

- 1) 名称：第5回わんぱく相撲女子全国大会伊予まつやま大会
- 2) 主催：公益社団法人松山青年会議所
- 3) 共催：公益財団法人日本相撲連盟
- 4) 後援：スポーツ庁・日本女子相撲連盟・愛媛県相撲連盟・松山市相撲連盟・愛媛県・松山市・愛媛県教育委員会・松山市教育委員会・東温市教育委員会・伊予市教育委員会・松前町教育委員会・砥部町教育委員会・久万高原町教育委員会・公益財団法人愛媛県スポーツ協会・松山文化スポーツ振興財団・愛媛新聞社・株式会社読売新聞社・NHK 松山放送局・南海放送株式会社・株式会社あいテレビ・株式会社愛媛朝日テレビ・株式会社テレビ愛媛・株式会社愛媛 CATV・株式会社えひめリビング新聞社・松山青少年育成市民会議（依頼予定）
- 5) 開催日：2024年9月22日(日)
- 6) 開催場所：愛媛県武道館
- 7) 形態：わんぱく相撲女子全国大会と LOM 及びブロック大会
- 8) 出場選手：全出場選手数約 2,000 人

9) 出場資格：

①LOM 大会（第 1 次予選）＝各 LOM 大会を開催する地域に在住または在学する小学生（男女）。但し、在住または在学している地区で大会を開催していない場合、近隣の LOM 大会への参加を可能とする。尚、選手の LOM 大会出場は当該年度 1 回のみ参加とする。開催は、2023 年 4 月～5 月末日迄とする。

②女子ブロック大会（第 2 次予選）＝各ブロック大会主催者の定めによる。開催は、2023 年 6 月末日までとする。

③女子全国大会＝各地青年会議所を通じエントリーのあったチーム。チーム組成は、4 年生 1 名、5 年生 1 名、6 年生 1 名、計 3 名とし、女子に限る。

④年齢＝2012 年 4 月 2 日から 2015 年 4 月 1 日までの生まれで、この学年に該当する小学生。

6 年生…2012 年 4 月 2 日から 2013 年 4 月 1 日

5 年生…2013 年 4 月 2 日から 2014 年 4 月 1 日

4 年生…2014 年 4 月 2 日から 2015 年 4 月 1 日

※就学延期制度により、生年月日とその学年が異なる場合は、わんぱく相撲女子全国大会実行委員会において資料提出を求め、調査 協議のうえ決定する。

10) 競技方法：

●LOM 大会（第 1 次予選）＝各 LOM 大会主催者の定めによる。

●ブロック大会（第 2 次予選）＝各ブロック大会主催者の定めによる。

●女子全国大会＝個人戦と団体戦を行う。

○個人戦…各 LOM 大会で選抜された選手によるトーナメント方式で各学年別に行い、横綱 1 名、大関 1 名、関脇 1 名をそれぞれ決定する。

○団体表彰…各選手の成績を点数で加算する方式で出場チームを対象として全学年の得点順に優勝、準優勝、第 3 位を選出する。但し同点の場合は、

(1) 優勝者（横綱）の数、(2) 高学年優勝（横綱）又は準優勝（大関）の序列。

※ブロック大会は、わんぱく相撲女子全国大会実行委員会の判断により、開催をお願いすることもあります。又、競技規定は全国大会出場マニュアルに準じます。

11) 大会事務局：

公益社団法人松山青年会議所に置く。(担当：実行委員長 橋本若菜)

愛媛県松山市大手町 2 丁目 5-7 松山商工会館 4F

TEL：089-941-0194 FAX：089-943-0149

12) 供与物：①ポスター（電子配布）②その他（京都会議以降決定する。）

13) 宿泊：推奨宿泊施設（窓口）はご案内いたしますが、手配は各 LOM にてお願いします。



14) その他：

- ①大会出場選手には、保険会社と実行委員会の間には傷害保険契約を結ぶ。保険の適用範囲は、全国大会のみとする。また、全国大会出場選手に対する国内旅行傷害保険とする。尚、施設賠償保険にも加入する。
- ②出場選手及び引率者の交通費は、各 LOM 大会主催者等の負担とする。
- ③参加される LOM は事前に開催されるオリエンテーション(1 月の京都会議)に参加する事を前提に出場を認める。
- ④入場は無料とする。

#### 4. 2024年女子全国大会運営の概略(案)

女子全国大会リハーサル、全国大会当日の概要を説明し、LOM 大会終了後の諸手続きの説明をします。

##### 1) 大会前日から大会当日までのタイムスケジュール(案)

(大会前日)21日

開始時間	終了時間	内 容	場 所
11:00	17:00	選手受付	愛媛県武道館
13:00	17:00	選手練習用土俵開放時間	メイン土俵、サブ土俵

(大会当日)24日

開始時間	終了時間	内 容	注 意 事 項
	8:00	選手会場入り	健康チェックシートの提出
9:00	9:30	開会式	Tシャツ着用で参加 (所持していること)
10:00	15:00	競技	競技時の服装:スパッツ、アンダーシャツ、まわし、 参加Tシャツ着用にて競技を行う。Tシャツのサイズ等、事情がある場合は都度協議にて対応する。
15:15	16:00	閉会式	

※ゴミ袋は各チームで持参してください。

子供たちの教育の場であることからゴミは分別し、所定の場所へ捨ててください。

##### 2) 運営上の注意点

###### ① 開催期日について

女子全国大会は9月の開催となりますが申請漏れなども懸念されるため、男子のスケジュールに合わせ、LOM 大会(ブロック大会がある場合はブロック大会)を、6月末日までに終了していただきます。

###### ② 選手について

○土俵上のマナーを十分伝えておいて下さい。

○応援席においても特別扱いはせず、子供の教育のためになることは率先してゴミ拾い等実践させて下さい。

○保険証(コピー)を持参させて下さい。

○まわしを締められる人を養成しておいて下さい。

③ 応援方法

○進行の障害にならない範囲内で行って下さい。

④ 会場内ボックス席利用について

○会場内ボックス席は実行委員会が使用しますので、無断使用はお断りします。

⑤ 自主防火、警備について

○ドア近くには応援器材を置かないこと。

○会場内の通路や階段での立ち見は厳禁とします。

○会場内は禁酒・禁煙です。

○選手以外の方々のケガには保険適用はありません。

⑥ 会場汚損防止について

○会場借用には原状回復が原則です。

○応援席の飾り付けには針金、画鋏、クギ等の金物は厳禁とします。

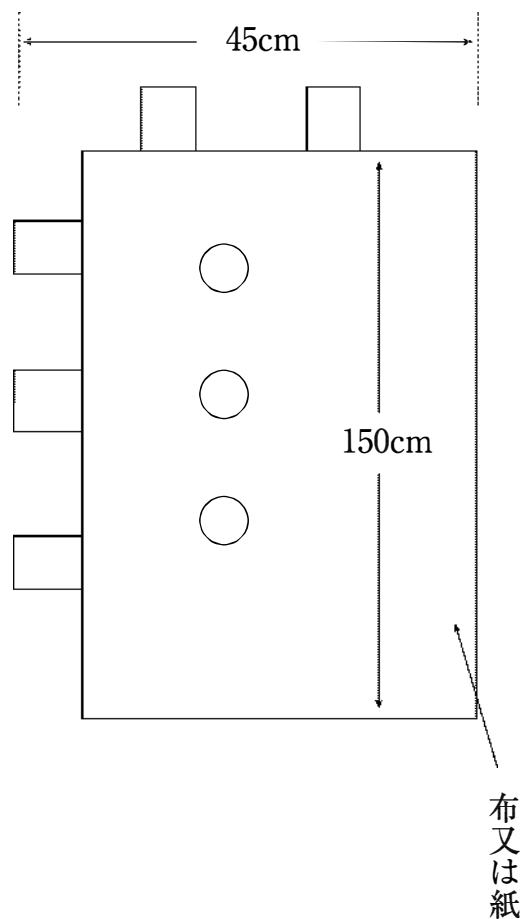
○壁面、床にガムテープ、セロテープの直接使用も厳禁です。

⑦ 駐車場について

○指定の駐車場を使用してください。

3) 全国大会に準備するもの

○選手を応援するための「のぼり」は下図の通りに各チームでご準備願います。21日の受付時に指定の場所に場所に設置して下さい。



#### 4)全国大会前の諸準備

##### 【Web・メールでの連絡事項】

- ① リハーサル及び大会当日の詳細なスケジュール
- ② 各チーム役員・選手の行動マニュアル
- ③ 応援方法の注意事項と使用許可範囲の明示
- ④ 運営上の諸注意事項
- ⑤ 駐車場に関する説明
- ⑥ その他

# 第3章

## 提出書類



## 重要：提出書類について

2024年度わんぱく相撲全国大会ホームページアドレス(提出書類)

<http://www.wanpaku.or.jp>

2024年度わんぱく相撲女子全国大会実行委員会・提出先アドレス

[wanpaku.jyoshi@gmail.com](mailto:wanpaku.jyoshi@gmail.com)

わんぱく相撲女子全国大会実行委員会事務局(お問い合わせ先:橋本)

住所 〒790-0067 愛媛県松山市大手町2丁目5-7 松山商工会館4F

提出書類の雛形は、わんぱく相撲ホームページメンバーページログイン後に女子大会に関する大会届のページが作成されますので、女子大会届のページより必要事項記入の上、Web上でご提出ください。

なお例外として、事故報告書については、必要事項を記入・捺印した原本が必要となりますので、必ずわんぱく相撲全国大会実行委員会までご郵送等にて原本をお届けください。

保護者同意登録依頼書に関しては、全国大会出場選手保護者によるPC・モバイルからの登録を実施しております。LOM大会、ブロック大会終了後、保護者の方への通知、連絡をお願い致します。

## 1. 提出書類の種類

### ■地区・LOM 大会

項目	期限	備考
大会計画届	1月21日～2月末日	
大会報告	大会終了5日後まで	
チーム登録	大会終了5日後まで	全国大会出場LOMが登録
保護者同意登録依頼書	大会終了5日後まで	全国大会に出場する選手の保護者に依頼書を渡し、Web(PCもしくはモバイル)からの登録を完了させる

### ■ブロック大会

項目	期限	備考
大会計画届	1月21日～2月末日	ブロック大会主管LOMが登録
大会報告	大会終了5日後まで	ブロック大会主管LOMが登録
チーム登録	大会終了5日後まで	全国大会出場LOMが登録
保護者同意登録依頼書	大会終了5日後まで	全国大会に出場する選手の保護者に依頼書を渡し、Web(PCもしくはモバイル)からの登録を完了させる

### ■全国大会当日関係

項目	期限	備考
体調申告書	9月22日 (全国大会当日)	全国大会当日必ず提出 (9月21日・22日の受付でお配りします)

## 2. 提出書類登録の流れ



わんぱく相撲全国大会のホームページのトップより、「メンバーログイン」ボタンをクリックしてください。

A screenshot of the login form. At the top left is the 'THE WANPAKU' logo, which is a stylized sumo wrestler. Below the logo is a 'ログイン' (Login) section. It contains two input fields: 'ユーザ名' (Username) and 'パスワード' (Password). Below the password field is a 'ログイン' (Login) button.

ログインにはユーザー名としてLOM認証番号(0始まりの4桁)パスワードは仮エントリー時に登録いただいたパスワードを利用します。

会員画面にログインし、各種提出書類を登録する形になります。

大会計画・大会報告・全国大会チーム登録など、各種登録毎に毎回手順書も併せてメールで案内されます。メールの宛先はエントリーいただいた担当者・事務局・代表者宛てに送付されます。

案内に沿って必ず期限日程以内に登録更新を終えて下さい。

## — 各チーム引率者役割 —

- 引率者
1. JCメンバーが担当し、大会当日の事務手続きを行って下さい。
  2. 選手の応援、チームの来賓、保護者、観戦者への心くばりを行って下さい。
  3. 応援は大会終了まで地区大会関係者、保護者を席に留められるようにして下さい。
  4. 緊急時には、会場内外警備、チームリーダーと共に観客の避難誘導を行って下さい。
  5. 選手の統括、競技面でのアドバイスを行って下さい。
  6. 選手の変更届を管理して下さい。(大会3日前正午まで、それ以降は、不戦敗)
  7. 選手の健康チェックを行って下さい。
  8. 取組進行がスムーズに行くように選手の集合等御協力下さい。
  9. 「まわし」を締められるように練習をして下さい。
  10. 選手の登録及び選手の体調申告票を本部に提出し、選手のゼッケンの受渡しをお願いします。
  11. 選手の出場時間、爪切、用便等の問題を十分理解し、大会役員の指示に従いスムーズに準備作業を行ない本大会が成功するよう御協力をお願いします。

※各役員は、選手個人個人に日本の伝統的競技のひとつとされる相撲を正しく理解させ、礼節を重んじるスポーツであることを良く指導して下さい。

## 第4章

### 「わんぱく相撲」競技事項



## 第5章「わんぱく相撲」競技事項

### 1. 競技心得

#### (1) 運営者側

競技を開始する前に、次の諸事項に留意すること。

##### ア) 選手点検

- ① 風邪その他の症状がないかどうかの確認
- ② 既往症の有無及び競技に支障がないかの確認
- ③ 注意事項を守っているか(爪切り、用便その他の確認)

##### イ) 準備運動

怪我防止の為、参加選手全員に対し行う。

##### ウ) 競技上の注意

選手全員を集合させ競技についての注意事項を中心に、禁じ手をふくめ注意事項の徹底をする。

#### (2) 競技者側

ア) 競技は必ず主審の指図さしずに従うこと。

イ) 呼び出しに応じて二字口で立礼をして(俵を踏まないように土俵に入ること)競技を行う。

ウ) 勝負が終わったならば両方とも二字口で礼をし、勝ったものだけが蹲踞そんきょして主審より勝ち名のりを受けること(俵を踏まないようにして土俵の外に出る)。

エ) 勝ち名のりは蹲踞そんきょのまま目礼し受けること。

オ) 土俵だまりで足を投げ出したり、土俵で足をこすらないこと。

カ) 競技に審判員より物言がついたときは、土俵の下におり、主審の指示により行動すること。

### 2. 競技規定

(わんぱく相撲のために特に定めており、大相撲とは異なります。)

#### (1) 勝ち負けのルール

つぎの場合は負けとする。

- ① 相手より先に土俵を出たとき。
- ② 相手より先に、足のうら以外のからだの一部が砂についたとき。
- ③ 禁じ手を使ったとき。(3)を参照(「禁じ手・禁じ技」ページへP. 33も参照)
- ④ 主審の指示に従わなかったとき。

#### (2) 立合い

立合いは主審の指示に従い、両手をついて「はっけよい」で立つこと。「待った」はない。

注) 2度づきは負けとなるので、特に気をつけること。

### (3) 禁じ手・禁じ技

これを使うと反則(直ちに中止して審判競技の上、負けとなる場合と取直しの場合がある)になる。危険を防ぐためのルールであるから、けっして使わないように注意すること。

- 禁じ手 ① <sup>にぎ</sup>握り<sup>こぶし</sup>拳<sup>つ</sup>で突<sup>なぐ</sup>き、殴ること
- ② 張<sup>は</sup>り手<sup>て</sup>
- ③ 頭<sup>とうはつ</sup>髪<sup>つか</sup>を掴むこと
- ④ 目<sup>め</sup>、または水<sup>みぞ</sup>月<sup>おち</sup>などの急<sup>きゅう</sup>所<sup>しよ</sup>を突<sup>つ</sup>くこと
- ⑤ 前<sup>ま</sup>立<sup>た</sup>禪<sup>ぜん</sup>を掴<sup>つか</sup>むこと
- ⑥ 喉<sup>のど</sup>を掴<sup>つか</sup>むこと
- ⑦ 胸<sup>むね</sup>、腹<sup>はら</sup>を蹴<sup>け</sup>ること
- ⑧ 一<sup>いっし</sup>指<sup>にし</sup>・二<sup>も</sup>指<sup>も</sup>を持<sup>お</sup>って折<sup>かえ</sup>り返<sup>かえ</sup>すこと
- ⑨ 噛<sup>か</sup>むこと
- 禁じ技 ① 反<sup>そ</sup>り技<sup>わざ</sup>
- ② 河<sup>かわ</sup>津<sup>づが</sup>掛<sup>が</sup>け
- ③ 鯖<sup>さば</sup>折<sup>お</sup>り
- ④ 極<sup>き</sup>め出<sup>だ</sup>し
- ⑤ 合<sup>が</sup>掌<sup>っしょう</sup>
- ⑥ 鴨<sup>かも</sup>の入<sup>い</sup>れ首<sup>くび</sup>
- ⑦ 後<sup>こう</sup>頭<sup>とう</sup>部<sup>ぶ</sup>を相<sup>あ</sup>手<sup>いて</sup>の腹<sup>ふく</sup>部<sup>ぶ</sup>につける

### 3. 審判規定

- (1) この大会には審判長1名、副審判長若干名、審判員若干名をおいて大会の審判を行う。
- (2) 審判員は勝負の判定、その他審判に関することに当る。
- (3) 主審の判定に対して副審の間に疑義を生じた場合は、審判長を中心として、主審及び副審との合議の上決定する。
- (4) 主審の判定に対して異議の申立ては、担当している審判長並びに副審に限る。
- (5) 禁じ手を用いた場合は、競技を中止させ、審判協議のうえ勝負及び取直しを決める。
- (6) 競技中、負傷によって競技の進行不能と審判が認めたときは、審判合議のうえ負けとすることがある。
- (7) 競技中前袋の落ちた時は、負けとする。
- (8) 約3分間の試合で勝負のつかないときは水入りとし2番後に取り直しとする。引き続き水入りとなった場合も同様に2番後の取り直しとし、以降これを繰り返す。これは子供の体面を考慮したものであるため、必ず間を空けての取り直しとすること。
- (9) 他の事項については日本相撲連盟大会競技規定に定められた「審判規定」に従うものとし、その運用は大会当日の審判団に委任する。

## 4. その他

ここに定めのない事項については実行委員会の決定による。

### 審判規定（日本相撲連盟審判規程：抜粋）

#### (1) 審判員及び任務

- ① 審判員の構成は、審判長、主審及び副審4名（計6名）とする。（第2条）
- ② 競技の勝負判定は、当該審判員に限る。（第3条）
- ③ 審判長又は副審が主審の勝負判定に対して異議又は疑義がある場合においては、協議を行うものとする。（第6条）

#### (2) 勝ち負けのルール

ア) 次の場合は勝とする。（第7条）

- ① 相手選手を先に勝負俵の外に出した場合
- ② 相手選手の足の裏以外の一部を先に土俵につけた場合

イ) 次の場合は、審判員の協議により当該選手を負けとする。（第9条）

- ① 負傷等により、競技続行が不可能と判定された場合
- ② 禁手を用いた場合又は用いたと判定された場合
- ③ 選手が勝手に競技を中止した場合
- ④ 審判員が故意に立たない選手と認めた場合
- ⑤ 審判員の指示に従わない場合

ウ) 競技中まわしの『前ぶくろ』が解けてはずれた場合は、負けとする。（第13条）

#### (3) 禁手とは、次の各号のことをいう。（第10条）

（禁手を用いられたときは、主審は直ちに競技を中止させる）

- ① 拳で殴ること。
- ② 胸部、腹部等を蹴ること。
- ③ 目、水月等の急所を、拳又は指で突くこと。
- ④ 頭髪をつかむこと。
- ⑤ 咽喉をつかむこと。
- ⑥ 前ぶくろ（前立禅）をつかむこと、又は横から指を入れて引くこと。
- ⑦ 一指又は二指を折り返すこと。
- ⑧ 噛むこと

(4) 『張り手』が用いられた場合は、直ちに競技を中止し審判員の協議により処置する。（第11条）

- ① 全審判員が故意に用いたと判定した場合は、負けとする。
- ② 審判員のうち故意によるものでないと判定した者がいる場合は、取り直しとする。

③ 取り直しとなった勝負において、同一選手が再度用いた場合は、故意、過失にかかわらず負けとする。

④ 『張り手』とは、選手本人の肩幅の外側から相手の顔面を張ることをいう。

#### (5) 禁じ技（日本相撲連盟審判規程補則：抜粋）

ア) 危険を防止するため、次の技を『禁じ技』とする。（第1条）

- ① 反り技（居反り・櫓反り・撞木反り・掛反り・外櫓反り）
- ② 河津掛け
- ③ さば折り
- ④ 極め出し・極め倒し（かんぬき）

イ) 『禁じ技』が用いられた場合は、直ちに競技を中止し、取り直しとする。（第2条）

ウ) 『禁じ技』で勝負が決まった場合は、審判員の協議により取り直しとする。（第3条）

エ) 同一選手が『禁じ技』を二度用いた場合は、審判員の協議により負けとする。（第4条）

#### (6) 危険な組み手（日本相撲連盟審判規程補則：抜粋）

ア) 危険を防止するため、次の状態を、『危険な組み手』とする。（第5条）

- ① 脇に入った相手の首を極めること。（抱え込む）
- ② 後頭部を相手の腹部につけること。（突っ込む）
- ③ 鴨の入り首

イ) 『危険な組み手』となった場合は、直ちに競技を中止し、取り直しとする。（第6条）

ウ) 同一選手が『危険な組み手』（鴨の入り首を除く）を二度用いた場合は、審判員の協議により負けとする。（第7条）

#### (7) 立ち会い

立ち会いは、主審のかけ声によって立ち合わせるものとする。（第14条）

① 立会いは、両手をついて主審のかけ声によって立つものとする。「待った」は原則として認めない。（本大会の特別規程）

(8) 競技開始後3分を経過しても勝負が決しない場合は、競技を中止し、直ちに『取り直し』とする。（第17条）

① 2番後取直しとする。（本大会の特別規程）

# わんぱく相撲女子全国大会競技事項

## 1. 出場資格

各地区大会の女子上位入賞者、4, 5, 6年生の各1名ずつ計3名。

## 2. 競技方法

個人戦と団体戦を行う。

個人戦＝各地区で選抜された選手によるトーナメント方式で各学年別に行い、横綱1名、大関1名、関脇1名、小結1名をそれぞれ決定する。

団体戦＝各選手の成績を点数で加算する方式で出場チームを対象として全学年の得点順に、順位を決定する。

但し、同点の場合は(1)優勝者(横綱)の数、(2)高学年優勝(横綱)の数または準優勝(大関)の序列で決定する。

## 3. 競技心得

### (1)運営者側

競技を開始する前に、次の諸事項に留意すること。

#### ア) 選手点検

- ①風邪その他の症状がないかどうかの確認
- ②既往症の有無及び競技に支障がないかの確認
- ③注意事項を守っているか(つめ切り、用便その他の確認)

#### イ) 準備運動

手足の屈伸をはじめ最低10分程度の予備運動を参加選手全員に対して行う(通常の競技前の準備運動は汗をかく程度まで要求される)。

#### ウ) 競技上の注意

選手全員を集合させ競技についての注意事項を中心に、禁じ手をふくめ注意事項の徹底を行う。

### (2)競技者側

#### ア) 競技の心得

すもうは心と体を鍛えることを目的にして行

うものです。お互いの攻めと防ぎによって、正々堂々と競技することです。たとえ練習でも真剣に行い、少しでも油断があってはなりません。勝つために競技するのですが、だからといって、やたらと勝ち負けばかりにとられると、競技の方法や態度が悪くなって、良くないだけでなく、危険なことにもなるのです。このことを頭の中に入れて、いつも元気よく、自分より大きいからとか、強そうだからとかいってびくびくせず、自分より小さいからといって馬鹿にせず、しっかりした態度ですもうをとることを忘れないようにしなければなりません。

#### イ) 競技前の心得

- ①用便をしておくこと。
- ②食事は少なくとも1時間前にしておくこと。
- ③つめは短く切っておくこと。
- ④準備運動を十分しておくこと。

#### ウ) 競技中の心得

- ①元気よく正々堂々と競技すること。
- ②口はしっかりとじて競技すること。
- ③禁じ手を使わないこと。

#### エ) 競技後の心得

- ①礼をして終ること。
- ②体の調子を整えるため、すぐ休まないで、体調運動をすることを忘れないこと。

#### オ) その他

- ①競技は必ず主審のさしずに従うこと。
- ②呼び出しに応じて二字口で立礼して(俵を踏まないように土俵に入る)競技を行い、③勝負が終わったならば、両方とも二字口で礼をし、勝ったものだけがそんきよして主審より勝名のりを受けること(俵を踏まないようにして土俵の外に出る)。
- ④勝名のりはそんきよのまま目礼し受けること。
- ⑤土俵だまりで足を投げ出したり、土俵で足をこすらないこと。
- ⑥競技に審判員より物言がついたときは、土俵の下におり、主審の指示により行動すること。



# わんぱく相撲女子全国大会競技事項

## 4. 審判規定（日本相撲連盟審判規程：抜粋）

### (1) 審判員及び任務

- ① 審判員の構成は、審判長、主審及び副審4名（計6名）とする。（第2条）
- ② 競技の勝負判定は、当該審判員に限る。（第3条）
- ③ 審判長又は副審が主審の勝負判定に対して異議又は疑義がある場合においては、協議を行うものとする。（第6条）

### (2) 勝ち負けのルール

ア) 次の場合は勝とする。（第7条）

- ① 相手選手を先に勝負俵の外に出した場合
- ② 相手選手の足の裏以外の一部を先に土俵につけた場合

イ) 次の場合は、審判員の協議により当該選手を負けとする。（第9条）

- ① 負傷等により、競技続行が不可能と判定された場合
- ② 禁手を用いた場合又は用いたと判定された場合
- ③ 選手が勝手に競技を中止した場合
- ④ 審判員が故意に立たない選手と認めた場合
- ⑤ 審判員の指示に従わない場合

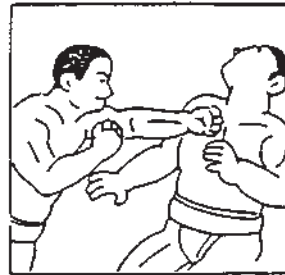
ウ) 競技中まわしの『前ぶくろ』が解けてはずれた場合は、負けとする。（第12条）

### (3) 禁手とは、次の各号のことをいう。（第10条）

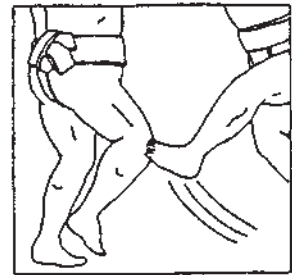
（禁手を用いられたときは、主審は直ちに競技を中止させる）

- ① 拳で殴ること。
- ② 胸部、腹部等を蹴ること。
- ③ 目、水月等の急所を、拳又は指で突くこと。
- ④ 頭髪をつかむこと。
- ⑤ 咽喉をつかむこと。
- ⑥ 前ぶくろ（前立禪）をつかむこと、又は横から指を入れて引くこと。
- ⑦ 一指又は二指を折り返すこと。
- ⑧ 噛むこと

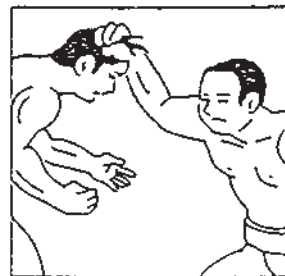
(4) 『張り手』が用いられた場合は、直ちに競技を中止し審判員の協議により処置する。（第11条）



拳で殴ること



蹴ること



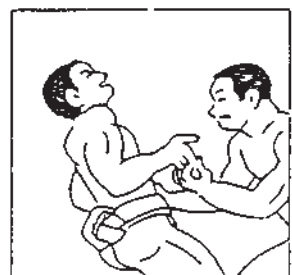
頭髪をつかむこと



喉をつかむこと



前ぶくろをつかむこと



一指又は二指を折り返すこと

① 全審判員が故意に用いたと判定した場合は、負けとする。

② 審判員のうち故意によるものでないと判定した者がいる場合は、取り直しとする。

③ 取り直しとなった勝負において、同一選手が再度用いた場合は、故意、過失にかかわらず負けとする。

④ 『張り手』とは、選手本人の肩幅の外側から相手の顔面を張ることをいう。



張り手



# わんぱく相撲女子全国大会競技事項

## (5) 禁じ技 (日本相撲連盟審判規程補則: 抜粋)

ア) 危険を防止するため、次の技を『禁じ技』とする。

- ① 反り技 (居反り・櫓反り・撞木反り・掛反り・外櫓反り)
- ② 河津掛け
- ③ さば折り
- ④ 極め出し・極め倒し (かんぬき)

イ) 『禁じ技』が用いられた場合は、直ちに競技を中止し、取り直しとする。(第2条)

ウ) 『禁じ技』で勝負が決まった場合は、審判員の協議により取り直しとする。(第3条)

エ) 同一選手が『禁じ技』を二度用いた場合は、審判員の協議により負けとする。(第4条)



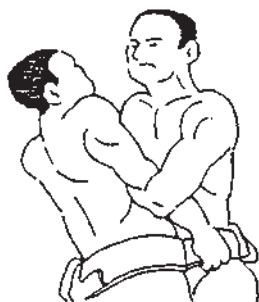
反り技



河津掛け



さば折り



極め出し (かんぬき)

## (6) 危険な組み手 (日本相撲連盟審判規程補則: 抜粋)

ア) 危険を防止するため、次の状態を、『危険な組み手』とする。(第5条)

- ① 脇に入った相手の首を極めること。(抱え込む)

- ② 後頭部を相手の腹部につけること。(突っ込む)

## ③ 鴨の入り首

イ) 『危険な組み手』となった場合は、直ちに競技を中止し、取り直しとする。(第6条)

ウ) 同一選手が『危険な組み手』(鴨の入首を除く)を二度用いた場合は、審判員の協議により負けとする。(第7条)



脇に入った相手の首を決める



後頭部を相手の腹部につける



鴨の入り首

## (7) 立ち会い

立ち会いは、主審のかけ声によって立ち合わせるものとする。(第14条)

- ① 立会いは、両手をついて主審のかけ声によって立つものとする。「待った」は原則として認めない。(本大会の特別規程)

(8) 競技開始後3分を経過しても勝負が決しない場合は、競技を中止し、直ちに『取り直し』とする。(第16条)

- ① 連続2回取り直しとなった場合は、3分間の休憩をとらせる。(本大会の特別規程)

# わんぱく相撲女子全国大会・競技上の心得

## ①服装規定とまわしの締め方

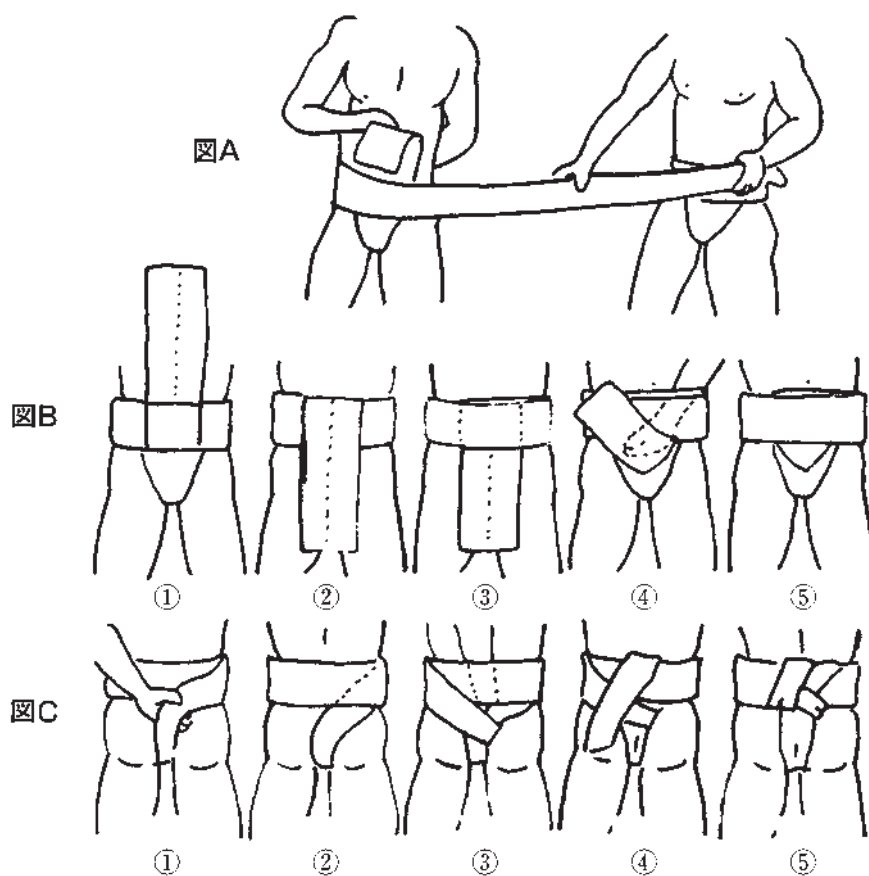
### 服装規定

- ・レオタード（または水着）を着用し、その上から大会支給のTシャツを着用する。
- ・スパッツまたは短パンを着用し、その上からまわし（白地のもの）を着用する。
- ・まわしは各LOM・地区で用意することとする。
- ・服装は金具のついていないものとする。
- ・髪留めは金属やプラスチックの硬い物は不可とし、髪の毛の長い選手は基本ゴムで束ねる。

### まわしの締め方

まわしを締めるときには、練習者同士で締め合うのがよい。また、サポーターなどをまわしの下につけるのが衛生的です。

- (イ)まわしを4つ折りにした一端を2つ折りに開きその部分をまたにはさむ(図A)
- (ハ)3まわり目に、前にたれた一端を4つ折りにして、右腰の方へ折りこむ(図Bの④)。
- (ロ)左手でまわしの後ろをささえ右に回転する(図Cの①)。
- (ニ)その後は1回または、2回まわして結びあげる(図Cの③、④、⑤)。



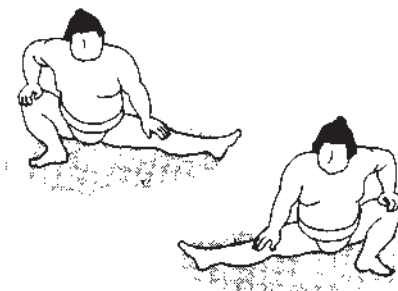
# わんぱく相撲女子全国大会・競技上の心得

## ②相撲をはじめる前に十分な準備運動

準備運動は、手足の屈伸をはじめ、最低10分ぐらいの予備運動を出場選手全員に対して行います。これは汗をかく程度まで行うのが目安です。

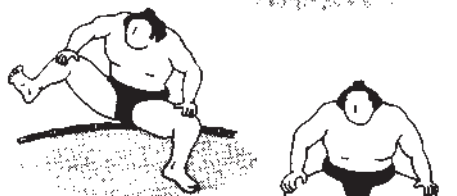
### ① 伸脚運動（しんきゃくうんどう）

下半身にバネをつけるための運動です。  
左右の足をかわるがわる伸ばします。



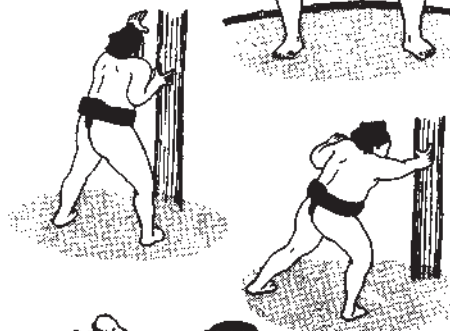
### ② 四股（しこ）

両足を開いて構え、足を左右かわるがわる高くあげ、力を入れてふみます。手はひざにそえます。大切なのは上体をまっすぐにするので、前かがみになると効果がなくなります。



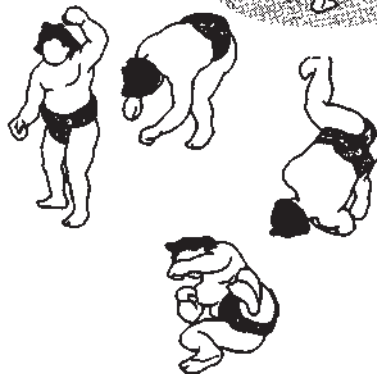
### ③ てっぼう

柱に向かって、左右かわるがわる突っ張ります。片方の手が柱から離れる直前に、もう片方の手で突っ張るのがこつです。



### ④ ころがり

ころがりとは、受け身のことで、頭、肩、手のひらなどをつかないようなころび方が大切です。



### ⑤ またわり

これを急に行うことは危険です。脱臼のおそれがありますので注意してください。

※大会当日は相撲練習所以外でのウォーミングアップ(準備運動)は禁止です。

# わんぱく相撲女子全国大会・競技上の心得

## ③相撲をはじめたら競技は審判団の指示にしたがって

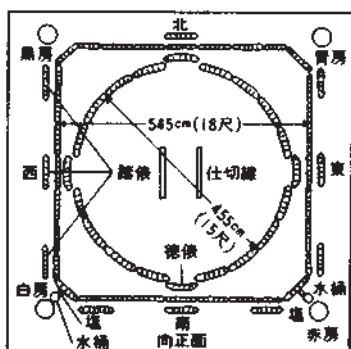
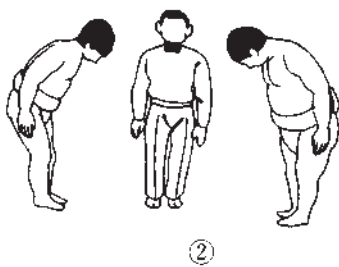
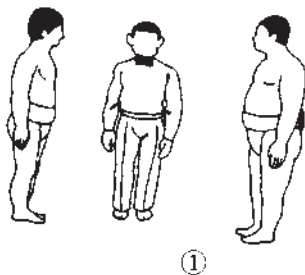
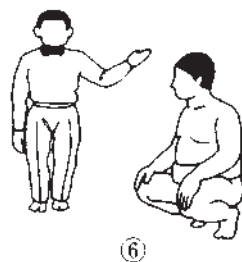
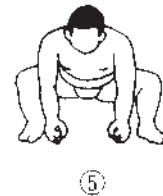
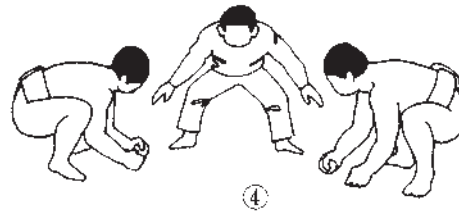
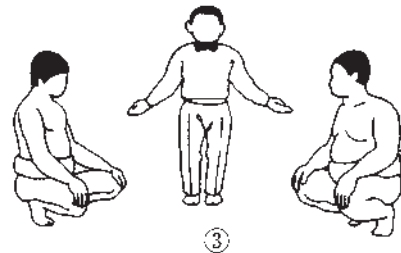
①呼出しに応じて二字口でまず立礼して競技を行い、勝負が終わったら両方とも二字口で礼をし、勝った者だけがそんきょして主審より勝名のりを受けること。

②勝名のりはそんきょの姿勢（⑥参照）のまま目礼して受けること。

③土俵だまりで足を投げだしたり、土俵で足をこすらないこと。

### 仕切り

両足を左右に開いて腰を落とし、両手をつくが、ふつう両手の間隔は肩幅ぐらい。もっとも大事なことは、この体勢から相手の目をじっと見ること。それに土俵上では自分勝手にやらないで、おたがいに相手の動作に合わせることも必要。



◎土俵 昔の土俵には四本柱があってその上に神明造りの屋根があったが、昭和27年秋場所から観客の邪魔になるというので廃止、屋根はつり天井になり、柱に巻いてあった青、赤、白、黒の柱巻が房に変わった。土俵の大きさも、3.94メートル（13尺）だったが、昭和6年4月の天覧相撲を機に4.55メートル（15尺）に広がり現在にいたっている。

# わんぱく相撲女子全国大会・競技上の心得

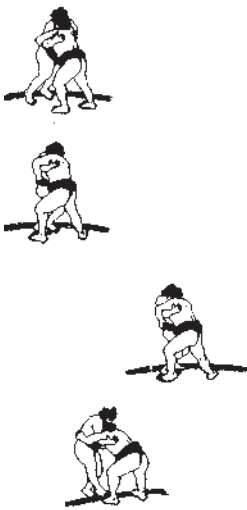
## ④極まり手

### <出し技>

#### ①寄り切り

もろ差し、右四つ、左四つでもよいから、体をつけて前に出て相手を土俵の外に出すことです。腰を落として、相手より低くかまえて出ると、よく出られます。

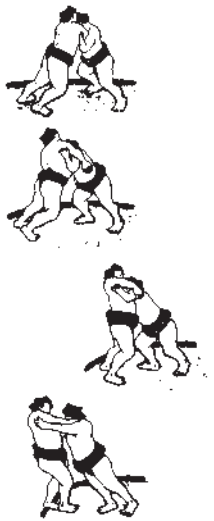
●相手がうしろに倒れたときは、寄り倒しになります。



#### ②押し出し

両手か片手かを相手のわきの下にあてて、押して相手を土俵の外に出すことです。腰を落として出ると、相手はかたんにさがります。

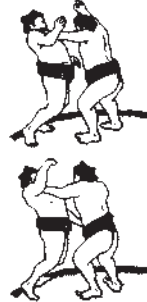
●相手がうしろに倒れたときは、押し倒しになります。



#### ③突き出し

手のひらが相手の体に直角にあたるように突っ張って、相手を土俵の外に出すことです。突っ張りには左右をかわるがわる出すのと左右いっしょに出すもろ手突きがあり、どちらも下から上に向かって突くと効果的です。

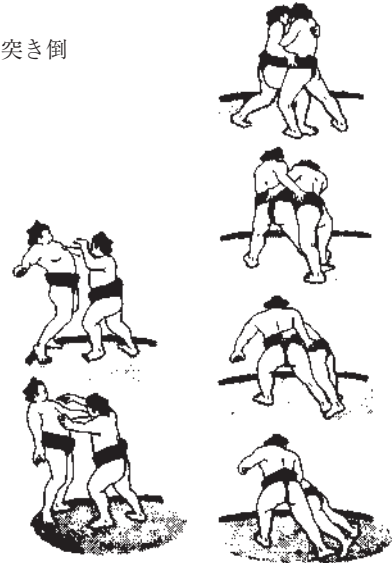
●相手を突き倒すと、突き倒しになります。



#### ④出し投げ

右でも左でもまわしを引き、ひじをわきにつけたまま、相手の体を前に投げ倒すことです。

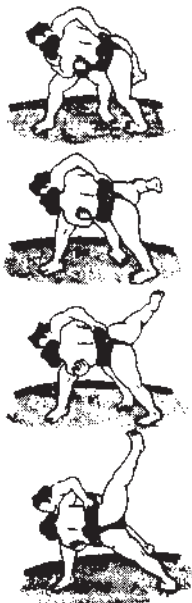
●上手から投げると上手出し投げとなり、下手から投げると下手出し投げとなります。



### <投げ技>

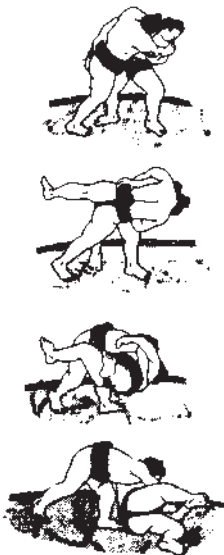
#### ①上手投げ

四つに組んで、右でも左でも上手まわしを引きつけて投げ倒します。投げを打つときは右上手投げは左足を外側に引いて打つとよくきまります。



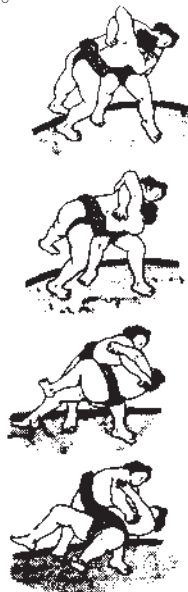
#### ②下手投げ

四つに組んで、右でも左でも下手まわしを引いて投げ倒します。差して寄り立て、相手が寄り返そうとしたときなどに打つとよくきまります。



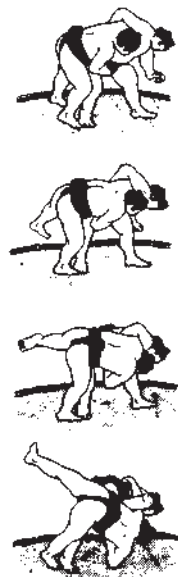
#### ③すくい投げ

四つに組んで、差し手でまわしを引かず相手の体をすくいあげるようにして、投げ倒します。差し手を返し、ひじを上にして投げる必要があります。



#### ④小手投げ

相手の差し手をかかえ込んで投げます。まわしは引かず、相手の差し手をしっかりかかえて投げるのが有効です。

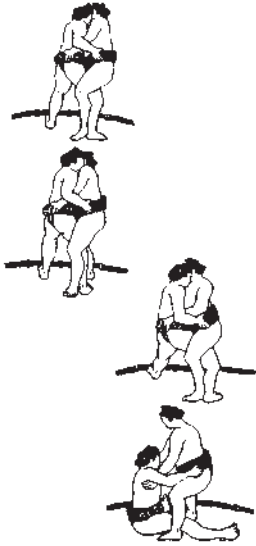


# わんぱく相撲女子全国大会・競技上の心得

## <倒し技>

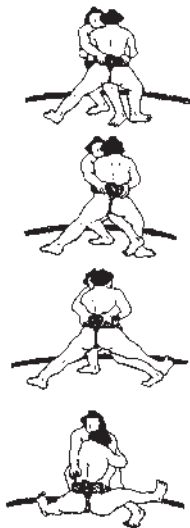
### ①外掛け

四つに組んでまわしを引きつけて、自分の左足を相手の右足、右足だったら相手の左足の外側にかけて、うしろに倒します。相手がつりにきたときとか、下手投げにきたときにかけてとよくきまります。



### ②内掛け

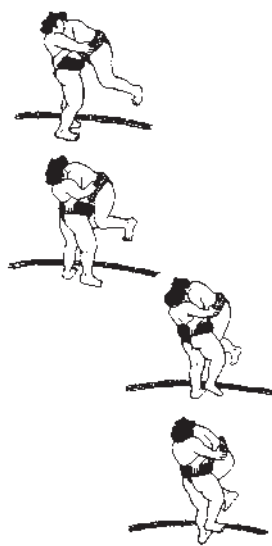
四つに組んで、自分の左足を相手の右足、右足だったら相手の左足の内側からかけて、うしろに倒します。外掛けと同じように、相手がつりにきたときとか、投げにきたときに掛ける技です。



## <特殊な技>

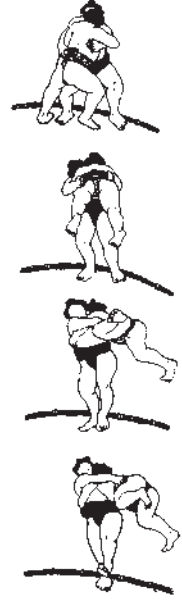
### ①つり出し

四つに組んで、相手のまわしを引き腰を落としてつり上げ、土俵の外に運び出します。つり出すとき、相手の両足が空中にあれば、自分の足が先に出て「送り足」といって負けになりません。



### ②うっちゃり

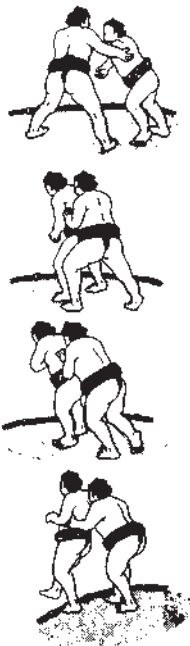
相手に寄り立てられたとき、土俵ぎわで腰を落として、右または左へ振りすてます。相手が寄って出てくる力を利用した技です。



## <その他の技>

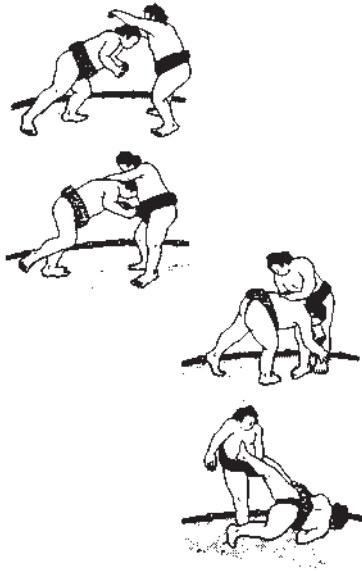
### ③送り出し

チャンスを見て相手のうしろに回り、突くか押すかして相手を土俵の外に出します。



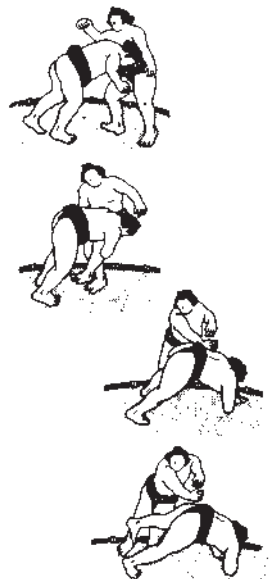
### ①はたき込み

突っ張り合ったり、押し合っているときに、相手が低く出てくるときに、体を右か左に開いて相手の肩か背中をはたいて落とします。思い切って体を開くとよくきまります。



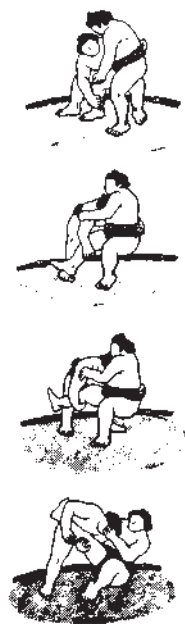
### ②けたぐり

立ち上がったときか、突っ張り合い、押し合い中、左足を飛ばして相手の左足首を、右足を飛ばしたときは相手の右足首をけり、相手の腕を引っ張って前へ落とします。



### ③足とり

立ち上がったときか、突っ張り合っているとき、相手の片足を両手でかかえ上げ、自分の体重をかけて倒します。





# ずもう ファイト！ザ・わんぱく相撲

作詞 保富康午  
作曲 巳城研二  
唄 塩見大治郎



ぶ つ 一 か れ ば 一 も える ひ ば な さ 一 な に 一 も か も 一 め い だ は だ か で と



り 一 く め ば 一 ま る い ど ひ ゃ う は 一 そ の ま ま ゆ め 一 の U\_FO 一 さ と ん



で ゆ く ん だ し ら な い せ か い へ



ど ん な あ い て の ち か ら も わ ざ も か ら だ ぜ ん ぶ で う け と め ろ い の ち ぜ ん ぶ で



せ め て ゆ け に つ ぽ ん い ち 一 の よ 一 こ 一 づ な 一 さ



ファイトファイト オオ ファイトファイト オオ ザ わ ん ぱ く ず も う

(一)

ぶつかれば 燃える火花さ  
なにもかも めいたはだか  
取り組めば まるい土俵は  
そのまゝ夢の UFOさ  
とんで行くんだ 知らない世界へ

※

どんな相手の ちからも技も  
からだぜんぶで 受けとめろ  
いのちぜんぶで 攻めて行け  
日本一の横綱さ

△

ファイト ファイト オオー  
ファイト ファイト オオー  
ザ・わんぱく相撲

(二)

たたかいは ジェット噴射さ  
太陽と 風と大地と  
集まった まるい土俵は  
すてきな夢の UFOさ  
わいてくるんだ 知らないちからが

キリリ締め込み 心にしめて  
からだひとつで 立ちあがれ  
いのちひとつが ここにある  
日本一のわんぱくさ

△(くりかえし)

※(くりかえし)

△(くりかえし)



# 注 意 事 項

チームリーダーの皆様が中心となって

## 『LOM・ブロック大会にて』

- 大会テーマをLOM大会・ブロック大会の参加者全員に伝えて下さい。  
選手が相撲に強くなる事が当大会の目的ではありません。選手や引率者のみならず参加者全員（地域の人々、家族、友人等）が大会テーマを共有する事が、JCとしての運動の一步となります。
- わんぱく相撲競技規定では、アマチュア相撲で許される「かわずがけ」、「首抱え」が禁じ手となっていますのでご注意ください。

## 『全国大会にて』

### <メンバー・引率者>

- 相撲部屋での選手の宿泊は、相撲部屋のご好意で選手を受け入れて頂いているものです。つまり選手はお客様ではなく、宿泊や食事の恩義を頂戴しています。したがって選手が礼儀（挨拶やお礼等）をわきまえる教育の場です。礼儀が出来ていなかったり、わがままな選手はそれを指導し正してください。もちろんチームリーダーは、その模範を示してください。当然、夜中に選手を残し出掛ける等、大人としての常識の範囲をこえる行動は、絶対にしないで下さい。
- 喫煙は指定場所以外では厳禁です。
- お酒の持ち込みは厳禁です。また会場外へ出て飲酒をして戻ってくることも厳禁です。
- のぼりは花道脇階段手摺へ設置をお願いします。横断幕・タレ幕は禁止です。
- 土俵廻り・支度部屋は立ち入り禁止です。
- ゴミは燃えるもの、燃えないものに分別し、指定の場所へ捨ててください。帰る時には、自分達のスペースは必ずゴミの無いようにしてください。

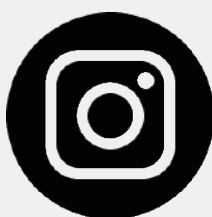
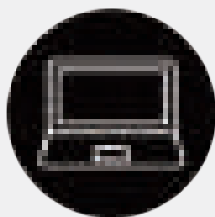
### <選手への徹底>

- チーム名と引率者名を選手自らが書けるようにしてください。
- 大会当日はきっちりとまわしを締めてから支度部屋へ集合してください。まわしが取れた場合は負けとなります。
- 選手が土俵に上がる場合、降りる場合は蛇の目（土俵綱廻りの砂）を絶対踏まない指導をお願いします。
- 立合いでの2度づきは負けとなるのでしっかりとご指導・ご注意ください。
- 土俵から戻ってきた選手は必ず支度部屋で足を洗ってから自分の席に戻ります。しかし裸足のため、再度、枱席に上がる前に通路で足の裏を綺麗にしてください。

以上、注意事項を遵守頂きます様、よろしく申し上げます。なお、注意事項を守れない場合は、出場を停止する場合があります。

# 第5回わんぱく相撲女子全国大会

SCAN THE CODE



わんぱく相撲女子全国大会

マニュアル

2023年1月1日発行

編集・発行 公益社団法人松山青年会議所

わんぱく相撲女子全国大会実行委員会

〒790-0067 愛媛県松山市大手町5-7 松山商工会館4F

ホームページ：<https://www.matsuyama-jc.or.jp/>

E-メールアドレス：[jimkyoku@matsuyama-jc.or.jp](mailto:jimkyoku@matsuyama-jc.or.jp)



100年経っても、“**LOVE**まつやま”  
Junior Chamber International **Matsuyama**  
公益社団法人 松山青年会議所